



JRグループ労組連絡会 第27回総会

JRグループ労組連絡会（JR連合）は9月3日、「働く仲間の総結集と人材の確保・定着を通じて、安全・安心で将来に希望が持てるJRグループを創造しよう！」とのスローガンを掲げ、ホテルグランヴィア岡山（岡山市）において第27回総会を開催した。

JR九州連合からは、総会委員6名、傍聴者4名が参加し、議長には江藤淳委員（JR九州エンジニアリング労組）が選出された。

幹事会を代表してあいさつした八木代表幹事（NESCO労組・JR西日本連合）は、豪雨災害に対する支援カンパの取り組みに謝辞を述べたほか、「人命に係わる労働災害は無くしていく」と、安全の取り組みに対する決意を表明した。また、2019春闘では、前年を上回る57単組でベアを獲得した実績を紹介し、格差是正や人材の確保・定着を図るため、2020春闘においても、「賃金をはじめとする労働条件の改善といった結果を勝ち取り、内外にしっかりとアピールしていこう」と呼びかけた。

来賓には、JR連合から荻山会長、尾形事務局長、JR西日本連合から白壁事務局長、交運共済から松岡理事長が出席し、それぞれから連帯のあいさつを受けた。

議事では、北村事務局長から「安全確立にむけた取り組み」「すべてのJR関係労働者の総結集にむけた取り組み」「働きがいあるJRグループづくりにむけて」等の活動方針（案）等が提起され、全議案は満場一致で採択された。

途中行われた分科会別討議では、傍聴者を含む参加者が部門別に集まり、2019春闘の成果や働き方改革への対応状況について意見交換した。また、人材の確保・流出防止についても意見を交わし、待遇を改善して人材の定着を目指すことや、採用する時点での工夫が必要といった報告も行われ、充実した討議を行うことができた。

役員の選出では、八木代表幹事が再任したほか、JR九州連合からは、後藤啓治氏（JR九州エンジニアリング労組）が退任し、淵上潤氏（JR九州サービスサポート労組）が幹事に選出された。



議長を務めた江藤委員



退任した後藤幹事



新任の淵上幹事